

科目名	吃音			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科3年	必修・選択	必修
<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>吃音および発話・発語の非流暢性についての理解を深める。</p>							
<p>〔授業全体の内容の概要〕</p> <p>吃音について理解し、それに対する評価法と治療・訓練の方法を学ぶ。</p>							
<p>〔講師の実務経験〕</p> <p>言語聴覚士として、明石仁十病院、入江病院、姫路聖マリア病院に勤務。</p>							
<p>〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕</p> <p>吃音は言語障害の範疇においても、得意な様相を示している。その特性を知り、状態を把握して言語聴覚士として適切な対応がとれる知識・技能の獲得を目指す。</p>							
回数	講義内容						
1	吃音とは何か 吃音の症状やエピソード						
2	吃音の定義						
3	吃音発生のメカニズム						
4	吃症状(その1)						
5	" (その2) DAF効果実験						
6	吃症状の特徴把握						
7	基本機能検査						
8	吃に関連する検査						
9	心理検査						
10	訓練の種類と理論的背景						
11	環境、調整						
12	間接的言語訓練						
13	直接的言語訓練						
14	メンタルリハーサル、自立訓練等						
15	吃音に関わるトピックス、セルフヘルプグループ等						
【 準備学習・時間外学習 】							
【 使用テキスト 】							
書籍名		著者名		出版社			
エビデンスに基づいた吃音支援入門				学苑社			
【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】							
試験、100点満点で評価する。							